



# 病児保育所だより



プール遊びやどろんこ遊び、虫採りなど、夏ならではの遊びを満喫している子どもたち。暑い中でも夢中になって遊ぶので水分摂取には十分に気を配りましょう。夏休みに遠出される方も多いと思います。体調やけがに注意して楽しい夏の思い出をつくってくださいね！



## 夏風邪といわれたら ご確認をお願いします！

夏風邪は6月から8月にかけて活発になるウイルス感染症の総称です。

代表的なものには

- 「手足口病」「ヘルパンギーナ」
- 「プール熱」があります。

病児室では、病気別にお部屋を分けてお子様をお預かりしています。夏風邪と診断された場合には、上記の病気を指している可能性もあります。

夏風邪と診断されたときは風邪の子どもと同じ部屋でのお預かりが可能かどうかご確認をお願いします。



## プール熱・流行性角結膜炎 (アデノウイルス)

### プール熱

- 症状**
- 発熱 (38℃以上)
  - のどの痛み
  - 目の充血
  - 目やに、涙
  - ※熱は3～5日続く

### 流行性角結膜炎

- 症状**
- 目の充血
  - 目やに
  - まぶたのはれ
  - ※ひどくなると発熱や下痢を伴うことも

ケア

- 対処療法が中心。のどごしがよい食事にする
- 水分補給をして脱水予防を

ケア

- 処方された目薬などを使う
- タオルなどの共有をしない
- 汚れた手で目をこすらない。よく手を洗う



眼科

## ヘルパンギーナにかかったら…… まず水分補給！

ヘルパンギーナは、突然の発熱と、のどの奥に水ぼうがができる病気。のどの痛みが強いので、ミルクや離乳食を嫌がる場合があります。こまめに水分補給をして脱水に注意してください。



症状

- 38～40℃の高熱が2～3日続く
- のどの奥に白いぶつぶつができる
- のどの痛み
- 食欲不振など

ケア

- かぜと同じケア
- こまめな水分補給
- 薄味のスープや豆腐、プリンなど、のどごと消化のよい食事



熱が下がって1日以上たち、いつもとおり食事ができるまでは、園をお休みしましょう。

## 手足口病

### にご注意を

てのひら、足の裏、口の中に小さな(米粒大)の発しんや水ぼうがができる手足口病。実は、おしりや皮膚の柔らかい所にもできたり、痛みやかゆみを伴い発熱したりすることも。また、口内炎が悪化して食欲が落ちたり、まれに髄膜炎などの合併症を起したりすることがあるので、注意が必要です。

登園は、熱が下がり、1日以上たって普段の食事ができるようになったら。



# おしらせ

メディキッズ山口では  
**8月13日(火)～15日(木)**  
 はお盆休みです。



風邪・中耳炎と診断され、  
 38.0℃以上の熱がある場合  
 は入室前にコロナ抗原検査  
 が必要となります。

引き続きご理解・ご協力を  
 お願いします。



## 7月の利用 (主な疾患)

風邪・中耳炎・溶連菌・結膜炎  
 手足口病・アデノウイルス

夏風邪でのご利用が増えています



## 病児室に関するお問い合わせ

山口市吉敷中東1-1-2

T 083 (941) 5311  
 F 083 (902) 6129



病児保育のご予約は

**「あずかるこちゃん」**

からお願いします！



あずかるこちゃん  
 公式ライン



メディキッズHP



青藍会公式サイト

詳しくはメディキッズHPをご確認ください！  
 書類のダウンロード等もできます